2026年6月10日
作成者　Y.M.



Sustainable Report No.175

捨てない選択が生む新たな価値

Human Network OGAWA

サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、
それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

© OGAWA-DENKI.Co.,LTD.

社会課題 日本の食品ロス量の現状

■ 課題の現状／経緯／影響

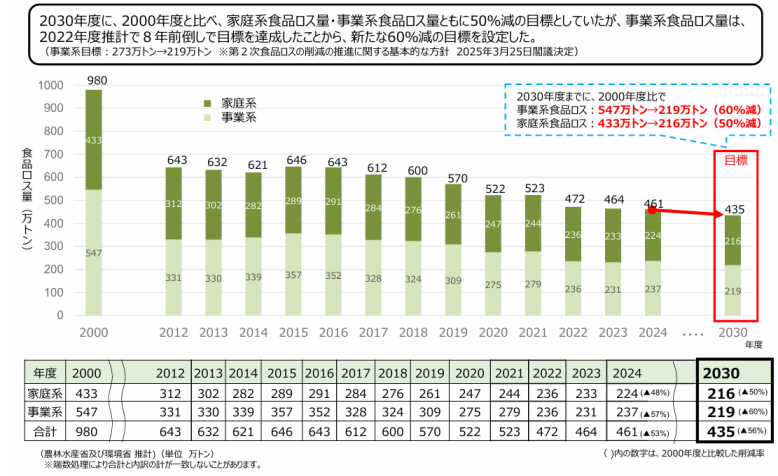
●日本の2022年度は472万トン。日々、**1人当たり約103グラム**、おにぎり1個を捨てている計算である。

●食べ物が捨てられる場面は大きく二つに分かれる。一つは生産や加工、流通過程で生じるもので「**Food Loss**」、もう一つは小売りや飲食店、家庭で生じるもので「**Food Waste**」と呼ばれる。前者は規格外や適切な温度管理ができないため、後者は賞味期限切れや作りすぎ、食べ残しが原因である。

●WFPによると、途上国では**Loss**が、先進国では**Waste**が多くなる傾向があると言われている。

●環境にも影響を与え、廃棄時の焼却による二酸化炭素排出や処理費用、土地利用の問題などの負荷を引き起こす原因となる。

■ 食品ロス量の推移（内訳）

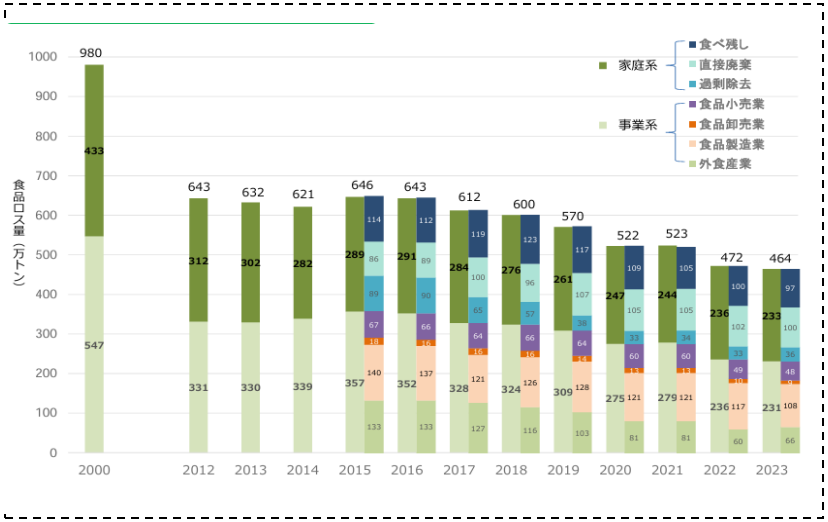


年度	2000	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2030
家庭系	433	312	302	282	289	291	284	276	261	247	244	236	233	224（▲48%）	216（▲50%）
事業系	547	331	330	339	357	352	328	324	309	275	279	236	231	237（▲57%）	219（▲60%）
合計	980	643	632	621	646	643	612	600	570	522	523	472	464	461（▲53%）	435（▲56%）

（農林水産省及び環境省 推計）（単位 万トン）
※端数処理により合計と内訳の計が一致しないことがあります。
（ ）内の数字は、2000年度と比較した削減率

出典：全体版_食品ロス削減関係参考資料（2026年1月14日）

■ 食品ロスの推移と削減目標



出典：別添1_食品ロス量の推移と削減目標

▶NEXT：消費者が気軽に参加できる取り組み。「フードドライブ」

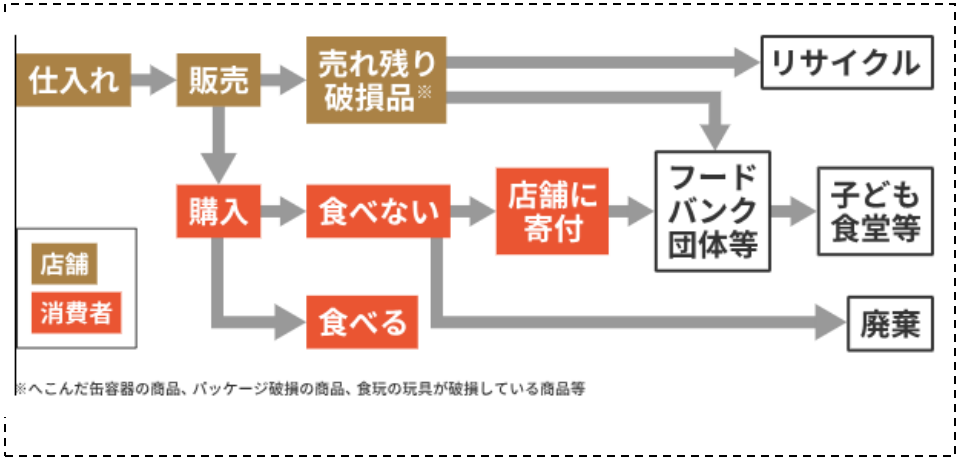
© OGAWA-DENKI.Co.,LTD.

解決事例 消費者が気軽に参加できる取り組み。「フードドライブ」

■ 実行者／解決事例／残る課題

- 取り組む企業・事例　「ファミリーマート」・「ダイエー」・「Jリーグ」店舗や会場に**回収箱を常設し回収**している。回収後、食品を必要としている団体に寄付を行っている。
- ファミリーマートでは、2021年4月～2023年8月に食品を**約138.5トン**を回収・寄付している。また、外箱が破損したなどの理由により店内で販売できなくなった食品も回収し、寄付している。
- 残る課題として、回収する食品には条件があり、全てを回収できていない。例として、**常温保存が不可なもの、製造者や成分表示がないものや冷蔵・冷凍品やアルコール類**などは、回収を行えていない。

■ 「フードドライブ」の流れ



出典：特集「おいしく食べきる！食品ロス削減レシピ」：農林水産省

■ ファミリーマートに設置されている回収箱



出典：余った食品を寄付。取り組み広がるフードドライブ| ecojin（エコジン）：環境省

▶NEXT：無駄なく食品を消費できる社会へ

© OGAWA-DENKI.Co.,LTD.

企業展望

無駄なく食品を消費できる社会へ

■ 残る課題の原因／理想／企業施策

- フードドライブは一度消費者のもとに渡り、不要になったものが集まる。そのため、それらを寄付した先で、品質・アレルギー・衛生面等のトラブルを避けるためにも**回収には条件が必要**となり、100%の回収が出来なくなっている。
- フードドライブという取り組みの**知名度上げ・参加しやすい環境**を作る。（広告・設置店舗拡大等）
- 企業の社内に向け、市区町村の施設に常設回収窓口を設置している自治体の共有や、実際に職場に回収箱の設置をし体験の機会を作る。

■ 国の災害用備蓄食品もフードバンク団体へ



出典：特集「おいしく食べきる！食品ロス削減レシピ」：農林水産省

■ Jリーグの試合会場でも回収が行われている



出典：余った食品を寄付。取り組み広がるフードドライブ| ecojin（エコジン）：環境省

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

© OGAWA-DENKI.Co.,LTD.

■ 参照・引用資料

- 消費者庁, 「食品ロス削減関係参考資料」,2026年1月14日（URL）全体版_食品ロス削減関係参考資料（2026年1月14日）　別添1_食品ロス量の推移と削減目標
- 環境省/ecojin, 「余った商品を寄付。取り組み広がるフードドライブ」,2024年01月24日（URL）余った食品を寄付。取り組み広がるフードドライブ| ecojin（エコジン）：環境省
- 農林水産省, 「おいしく食べきる！食品ロス削減レシピ」,2023年10月1日（URL）特集「おいしく食べきる！食品ロス削減レシピ」：農林水産省

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先

Human Network OGAWA

小川電機株式会社

〒545-0021　大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥 当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

© OGAWA-DENKI.Co.,LTD.